

行政視察報告書

令和8年8月25日

貝塚市議会議長 川岸 貞利 殿

自由市民 田畑 庄司
食野 雅由

[調査目的及び、訪問先]

第1日 令和8年8月17日（月）
「アメリカンビレッジ」における観光振興について
沖縄県北谷町 北谷町観光協会

第2日 令和8年8月18日（火）
「ウミカジテラス」における観光振興について
沖縄県豊見城市（一社）瀬長島ツーリズム協会

沖縄県糸満市 平和祈念資料館

第1日 令和8年8月17日（月）
「アメリカンビレッジ」における観光振興について

今回我々は、貝塚市の二色の浜における観光振興を進めるための先進地事例として沖縄県におけるもっとも成功したといえる、北谷町「アメリカンビレッジ」と二色の浜とよく似たロケーションである豊見城市「ウミカジテラス」を視察先を選びました。

第1日は、沖縄県北谷町にある「アメリカンビレッジ」でありました。北谷町は戦後良好な町内の土地を米軍基地に接収され、現在も町全体の54%が米軍用地に占有されており居住区域は基地に分断されています。その後町の産業はこれといったものも無く作業は停滞していましたが、昭和56年に米軍基地の返還を契機に、跡地利用として沿岸部に海浜公園と中心部に大型ショッピングセンター等が整備され、その効果もあり主要幹線沿いに専門店、地区内にブティック、飲食店、フリーマーケットなどが立ち並び商業集積が急速に進んでいます。又この地区の効果的な土地利用を図るため、背後地に約50ヘクタールの埋め立てを同時に行い運動公園や住宅用地などと合わせて開発が行われました。この開発によ

って観光客はもとより地元住民も多く訪れ大きな賑わいが生じています。その賑わいの核になるのが「美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ」で、その中には映画館、ショッピングセンター、ボウリング場、D I Yセンター、レストラン、アメリカ雑貨店、ライブハウス、公共の保養施設、大型観覧車、長期滞在型のリゾートホテルなどがあり、まさに一步その中に踏み入れるとアメリカにいるような雰囲気になります。又、観光客も地元住民も楽しく過ごせる施設として多くの来場者が訪れていました。日本でも最も成功した観光振興ではないかと感じました。本市にもこのような施設があればと思います。施設内を海岸から中心部まで回覧してから、観光協会事務局においてスタッフと意見交換して視察は終わりました。その後、北谷町役場に向かい観光課の職員に対し今回の視察の御礼を伝えに行きました。



第1日目、北谷町「アメリカンビレッジ」の視察を終えての感想として、大規模で官民連携の最たる先進事例として全国的にも最も成功した事例であると思いました。本市に置き換えて見ると、二色の浜における観光振興の重要性を感じました。北谷町のような大規模開発は厳しくとも二色の浜の持ちわせているポテンシャルを高める工夫が必要不可欠であると思いました。

2日 令和8年8月18日（火）

「ウミカジテラス」における観光振興について

第2日目の視察は、沖縄県豊見城市の「ウミカジテラス」でありました。説明は（一社）瀬長島ツーリズム協会の後藤青也氏と宮城唯衣氏でありました。まず、ウミカジテラスのプロモーションビデオを拝見し、続いてウミカジテラスの概要、施設開発と運営の沿革、施設コンセプト、出店テナントについて、観光客誘客の取組の順で説明を受けました。その後、後藤氏から補足の説明があり質疑応答、意見交換をしました。

この「ウミカジテラス」は豊見城市の瀬長島で那覇空港の滑走路の延長戦線上に位置する比較的海岸から近い島でそのアクセスは道路で繋がっており車で乗り入れることができる島であります。開発以前は、地元住民のジョギングやウォーキング、ドライブなどに少なからずの利用があったそうです。しかしながら心無い住民が不法投棄やカミナリ族と呼ばれる騒音を発する若者のたまり場になっていたようです。そのような中、2007年に瀬長島の開発のプロポーザルコンペが始まり、2013年 瀬長島ホテルが開業し、2015年にウミカジテラスが開業しました。同施設は海岸の緩やかな傾斜地形を活かした段々畑状のテラス構造で、白を基調としたその風景は地中海のリゾー



ト地を彷彿する見る目に美しいものであります。また、空港と隣接するそのロケーションは青い海の間近を飛行機が離発着し夕暮れになれば、とても美しいものに映るであろうと思いました。

そのような環境のもと観光客と県内客の双方が楽しめる施設構成を重視し、朝市、ナイトマーケット、季節イベント、地域団体ステージイベントで来場動機作りをし、地元の子ども向けにハロウィンやクリスマスイベントなどを提供して、地域貢献をされています。県外からの修学旅行の受け入れも積極的に誘致されており多方面に向けての誘客の取り組みをされていることは、とても素晴らしいことであると思いました。

ウミカジテラスの視察を終えて感じたことは、本市における二色の浜公園の運営において、現状を維持するだけでなく積極的に誘客を望めるアイデアを企画することが重要であり、その取り組みができる民間企業とのコラボが必要であると思いました。

平和祈念資料館 沖縄県糸満市

我々は、ウミカジテラスの視察を終えてから糸満市の平和祈念資料館を視察しました。平和祈念資料館は、沖縄戦の最後の激戦地となった摩文仁の平和祈念公園内に位置し、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ伝えるために設立された施設です。軍事的な記録にとどまらず、地上戦に巻き込まれた一般住民の視点から当時の実相を伝える展示構成が特徴となっています。日本で唯一地上戦が行われた沖縄の負の歴史を目の当たりにして、今現在地球上で行われている紛争が一刻も早く終結される日が来てほしいと思いました。この平和祈念資料館を見学して、現在我々が享受している平和な日本があるのも先の大戦で犠牲になられた尊い命の犠牲の上にあることを実感しました。



以上のとおり報告いたします。